

事業番号	01 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防災情報基盤整備事業	部局	危機管理部	課・室	消防課		
		実施期間	S57 ~	E-mail	shobo@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標							
総合的に展開する重点政策	4-1 県土の強靱化						

1 現状と課題

防災行政無線や震度情報ネットワークシステムなどの防災情報関連設備は、災害発生時の被害状況の把握や関係機関との情報共有、初動対応の検討などに重要な役割を果たしており、常に機能を維持する必要がある。

2 事業目的

災害発生時に防災情報関連設備が確実に機能するため、計画的な更新と適切な維持管理を行う。

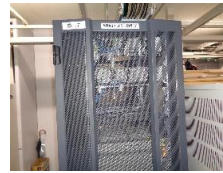
3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

① 防災行政無線等の点検・修繕

- ・防災行政無線点検・修繕
- ・震度情報ネットワーク設備修繕



防災行政無線（県庁局）



震度情報サーバ



防災行政無線地上系電源設備



防災行政無線UPS

② 老朽化した設備の更新

- ・防災行政無線地上系電源設備更新
- ・防災行政無線UPSバッテリー更新
- ・衛星系防災行政無線県庁局実施設計
- ・震度情報ネットワークシステム更新(R3年度から繰越)

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R4年度 目標値	達成 状況	設定理由	
			実績	実績	推移	実績				推移
①	災害時の通信確保率	%	100	100	→	100	→	100	達成	防災行政無線は、大規模災害発生時に県と市町村・消防本部などを接続し、被害状況の把握や対応の指示を行うために必要不可欠な設備であり、災害時の通信確保は必須であるため、通信確保率100%の目標設定とする
②										
③										
④										
⑤										

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R4年度	432,157	297,611	△ 52,635	677,133	116,235	627,357	3.0
R3年度	0	411,633	340,164	751,797	147,209	306,553	3.0
R2年度	0	145,042	0	145,042	117,204	144,099	3.0

事業番号	01 01 01	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	防災情報基盤整備事業		部局	危機管理部	課・室	消防課

6 主な取組実績と成果

<p>① 防災行政無線等の点検・修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の点検・修繕を適切に実施し、大きな不具合なく運用ができた。 ・震度情報ネットワーク設備の修繕を適切に実施し、大きな不具合なく運用ができた。 <p>② 老朽化した設備の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線地上系電源設備（県庁及び中継所の直流電源装置）を更新し、適正な設備の運用につなげた。 ・防災行政無線衛星系のUPSのバッテリーを更新し、2年度かけて全て終了させ、適正な設備の運用につなげた。 ・防災行政無線衛星系のうち県庁局の実施設計を実施し、令和5～6年度の更新工事の発注につなげることができている。 ・震度情報ネットワークシステムの更新(R3年度から繰越)を実施し、県で設置した震度計等を全て今回更新し、適正な設備の運用につなげた。

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	災害時の通信確保率	R3年度推移	→	R4年度推移	→	達成状況	達成
点検・修繕と老朽化した設備の更新を実施し、通信不能を未然に防ぐことができたと思われる。							
指標②		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標③		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標④		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	
指標⑤		R3年度推移		R4年度推移		達成状況	

8 今後の事業の方向性

<p>(1) 令和4年度の実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した設備の更新を進めることができた。 ・防災行政無線衛星系のうち県庁局の実施設計を実施し、令和5～6年度の更新工事の発注につなげることができている。
<p>(2) 翌年度以降の事業改善の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線衛星系は、現第2世代システムの運用が令和9年度で終了するため、第3世代システムに更新する必要がある。緊急防災・減災事業債が令和7年度までの予定であるため、令和7年度までに更新が完了するよう進める。 ・設備の確実な運用と機能維持のため、適時適切に老朽化した設備の更新と、年次点検及び修繕を実施する。

事業名	防災情報基盤整備事業	部局	危機管理部	課・室	消防課
-----	-------------------	----	-------	-----	-----

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	防災行政無線管理費	119,078 千円	274,237 千円	219,652 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	防災行政無線設備の保守・管理	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 各設備を年1回以上点検 不具合が出た設備の修繕 衛星系県庁局の更新に伴う実施設計 地上系電源設備更新（直流電源装置更新7式） 衛星系UPS修繕（66式） 地上系41箇所、衛星系113箇所	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	震災対策費	18,382 千円	17,988 千円	400,621 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	震度情報ネットワークシステムの保守・管理	直接	<ul style="list-style-type: none"> 震度情報ネットワークシステム更新（県で設置した震度計の全更新等） 不具合が出た設備の修繕 対象箇所118箇所（県庁1箇所、震度計等117箇所）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	災害対策本部室設備管理費	6,639 千円	14,328 千円	7,084 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	災害対策本部室における各種設備の保守・管理	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> 各設備を年1回以上点検 不具合が出た設備の修繕 気象情報システム機器のリース（5年契約） 対象箇所1箇所（県庁）	